取扱説明書（据付工事編付）

助剤投入器

品番 助剤キット 7067
（MWD-7067EC 用オプション）

このたびは助剤投入器をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
・この「取扱説明書」をよくお読みになり正しくご使用ください。
・わからないことや故障したときにお役にたてていただくためにも、大切に保存してください。

目　次

ご注意

この助剤投入器は、コイン式全自動洗濯乾燥機 MWD - 7067EC 専用オプションです。
本機を取り付ける際には、必ず洗濯乾燥機本体の電源プラグをコンセントから抜いてから工事を行ってください。
感電の恐れがあります。
洗剤、ソフト剤は当社指定の製品をご使用ください。指定以外の助剤は使用しないでください。
故障の原因になります。
本機を取り付ける際には、下記の工具が必要になります。
・特殊ドライバー　トルクス T15H　　　ドライバー先端形状：穴付・・・

構成部品

本機は、下記の部品で構成されています。

- 取扱説明書（本紙）　1 個
- 助剤投入器本体　1 個
- フィルター完成（ホース、バンド付）　1 個
- ホースバンド（洗濯乾燥機側ホース接続用）　1 個
- ラベル（洗剤ケース用）　1 個
- ラベル（洗剤、ソフト剤）　1 個
- ラベル（操作説明用）　1 個
- M4×10 タッピングネジ　2 個

洗剤・ソフト剤

洗剤、ソフト剤は当社指定の製品を適量でご使用ください。指定以外の助剤を使用すると、泡が立ちすぎたり、ホースの変形や傷みにより感電や漏電のおそれがあります。また、ポンプの故障につながるおそれがあります。

・はじめてセットした際や助剤の交換後は、試運転を行い、当社指定の洗剤、ソフト剤ホース内のエア抜きを行ってください。
・フィルターは必ずセットしてください。ごみの詰まりによるポンプの故障を防止します。
・投入時間は、2 ページの一覧表を参考に設定してください。

当社指定の洗剤・ソフト剤

洗剤	肌ピュア洗剤 テクノウォッシュ
ソフト剤	肌ピュアソフター テクノソフター

動作

本機を取り付けることで、液体洗剤または液体ソフト剤の自動投入を行うことが出来ます。
（洗剤とソフト剤両方を自動投入する場合は、本機が２個必要です）
①洗剤用に取り付ける場合　・・・　本機は、洗い工程の給水中に１回動作します。
②ソフト剤用に取り付ける場合　・・・　本機は、すすぎ２工程の２分間攪拌時点に３回間欠動作します。
（ソフト剤の動作例：投入時間を０.３秒に設定した場合、合計０.９秒の投入時間になります。）

・コース別の投入時間は設定できません。
・下記目安量は、＜ポンプ高さ：110cm　室温：15 ～ 20℃　ホース長：3m の場合＞における参考値となります。

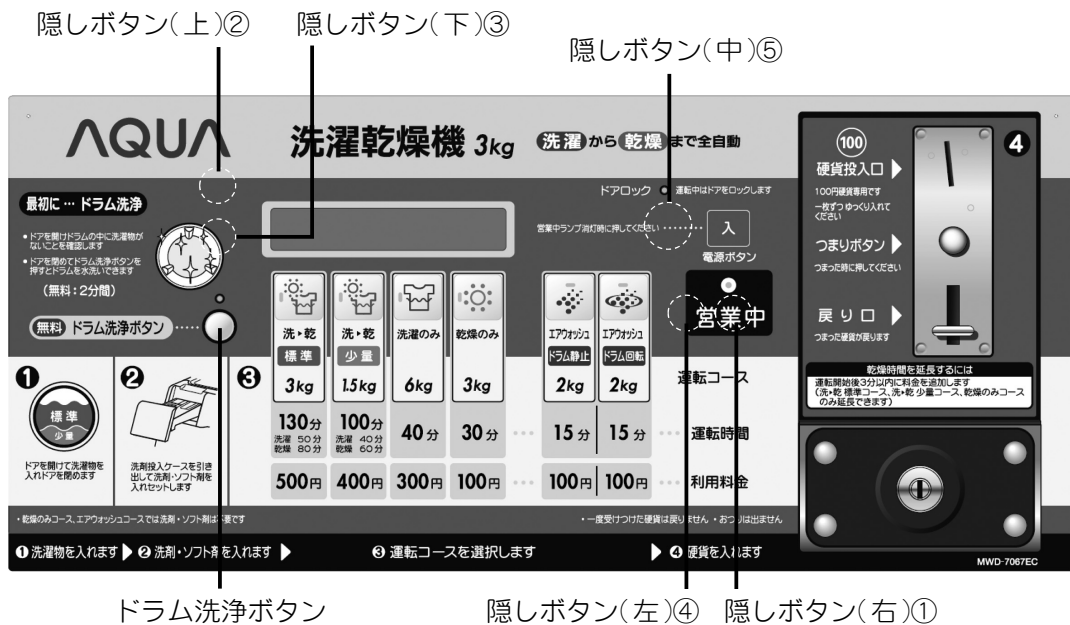
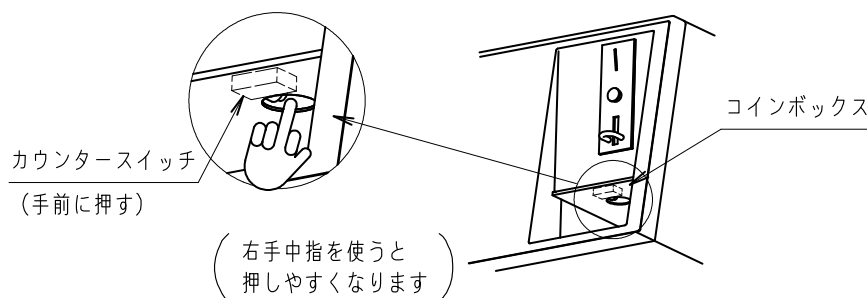
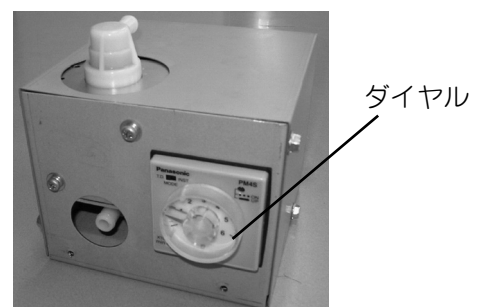
給水量と、投入時間の目安（洗濯乾燥　標準コースの給水量）

助剤	行程	給水量（実測値）	投入時間
肌ピュア洗剤	洗い	約 22 Ｌ	１秒
テクノウォッシュ			
肌ピュアソフター	すすぎ２	約 22 Ｌ	０.３秒（設定値）×３回 合計：０.９秒
テクノソフター			

洗剤、ソフト剤使用量の目安

		使用量の目安	ポンプ投入量（実測値）
洗剤	肌ピュア洗剤	水量の約０.1%	１秒設定の場合 約 20mL
	テクノウォッシュ		
ソフト剤	肌ピュアソフター	水量の約０.1%	０.3秒(設定値)×３回 合計:０.9秒の場合 約24mL
	テクノソフター		

設定と試運転

1. 設定に使用するボタン

カウンタースイッチ（コインボックス内部）

助剤投入器

2. 設定

準備：本機を洗濯乾燥機に取り付ける。
　　　本機に各ホース（洗濯乾燥機側、付属のフィルター完成ホース側）を接続し、洗濯乾燥機の電源を入れる。
　　　使用する助剤に合わせて、ダイヤルを調整しておく。

① カウンタースイッチを１回押す。
　　設定変更の状態になり、コース名と料金設定を表示します。

試運転（ホース内のエア抜き）を行います。
② 隠しボタン（左）を５秒間押す。
　　「ピッ」と音がし、「OP　OFF」と表示します。

③ ドラム洗浄ボタンを押す。
　　「OP 剤」と表示します。ソフト剤のエア抜きを行います。
　　※ソフト剤を接続されない場合は、⑤へ進んでください。

④ 隠しボタン（右）を押すと、ソフト剤を吸い上げます。再度ボタンを押すと停止します。
　　ポンプの吸い上げは断続的に行います。また、同時に給水、排水を行います。
　　ソフト剤がポンプに到達したら停止してください。

⑤ ドラム洗浄ボタンを押す。
　　「洗剤」と表示します。洗剤のエア抜きを行います。

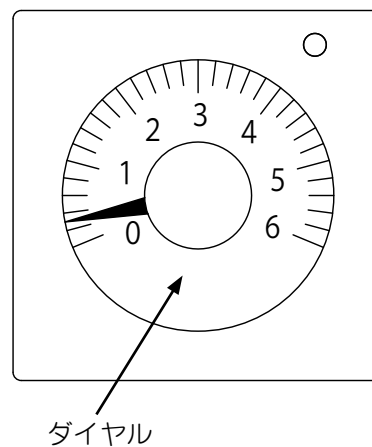
⑥ 隠しボタン（右）を押すと、洗剤を吸い上げます。再度ボタンを押すと停止します。
　　ポンプの吸い上げは断続的に行います。また、同時に給水、排水を行います。
　　洗剤がポンプに到達したら停止してください。

⑦ カウンタースイッチを１回押す。
　　待機状態に戻ります。

以上で、設定と試運転が完了です。

＜ダイヤル調整について＞

・1メモリ 0.2 秒です。
・針の先端を設定したい時間（秒）に合わせます。

（例：0.3 秒に設定したい場合、右図のように
　0.2 秒と 0.4 秒の中間位置に合わせます。）

据付工事編

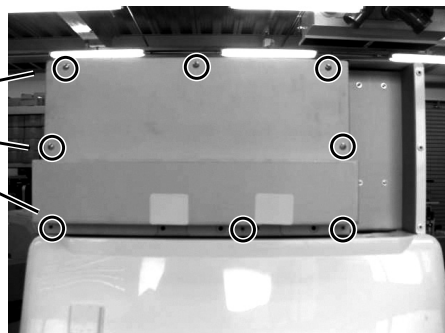
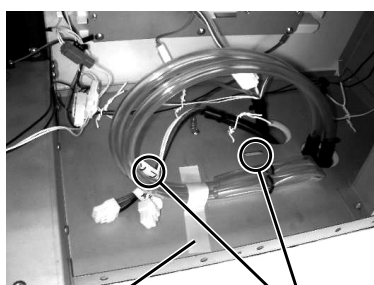
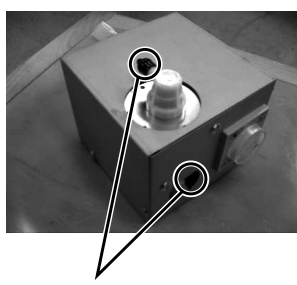
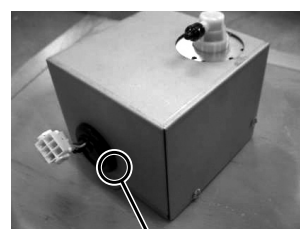
本機を取り付ける際には、下記の工具が必要になります。

・特殊ドライバー　トルクス T15H

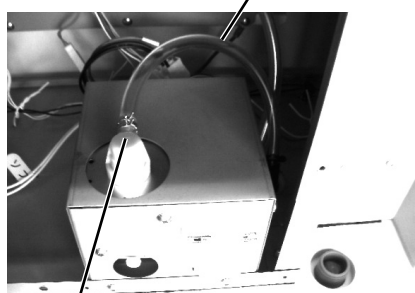
・プラスドライバー　・ラジオペンチ　・ハサミ（ビニールホース切断に使用）

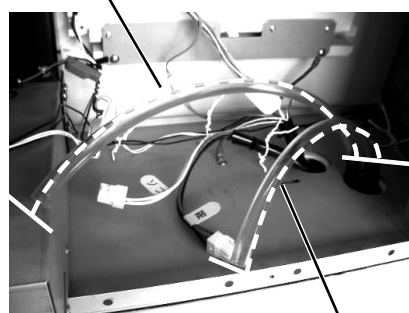
※使用する助剤によって、取り付け方法と配線方法が異なります。注意して取り付けてください。
（洗剤とソフト剤両方を自動投入する場合は、本機が２個必要です）

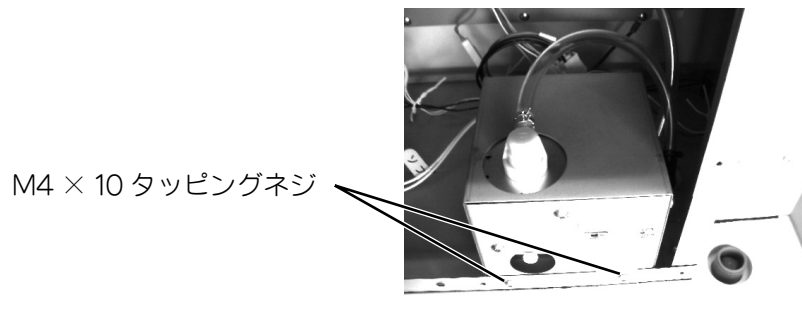
１．洗濯乾燥機の電源プラグをコンセントから外す。
　※必ず電源プラグをコンセントから外してください。感電のおそれがあります。

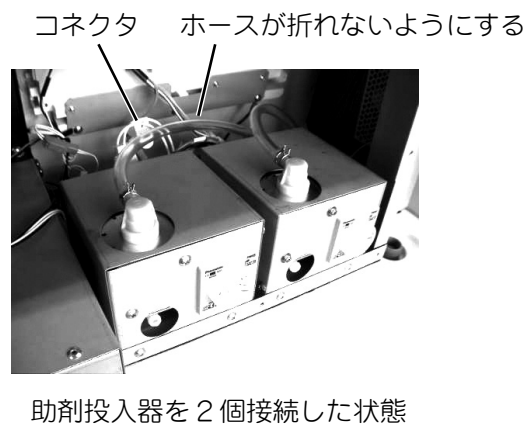
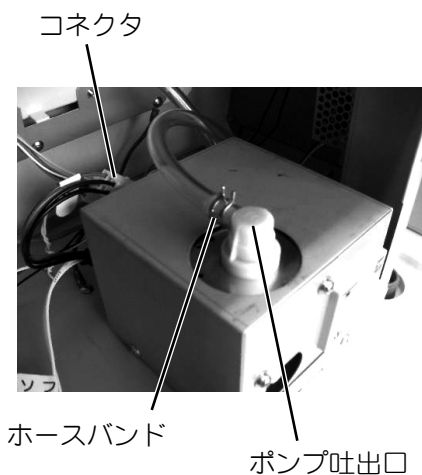
２．洗濯乾燥機後部の特殊ネジ８本を外し、後面板を取り外す。

３．制御箱内部のビニールホースを固定しているテープをはがし、助剤投入器のツメを固定用四角穴に差し込んでから制御箱に設置する。

テープ　固定用四角穴　キャップ　ツメ

４．制御箱内部のビニールホースを助剤投入器のポンプ吐出口に接続できる長さ（下図参考）に切り取る。
　接続する助剤投入器の数に合わせて切り取ってください。
　※ホースは折れ曲がらないように、図のようにゆるやかに山なりになる長さで切り取ってください。

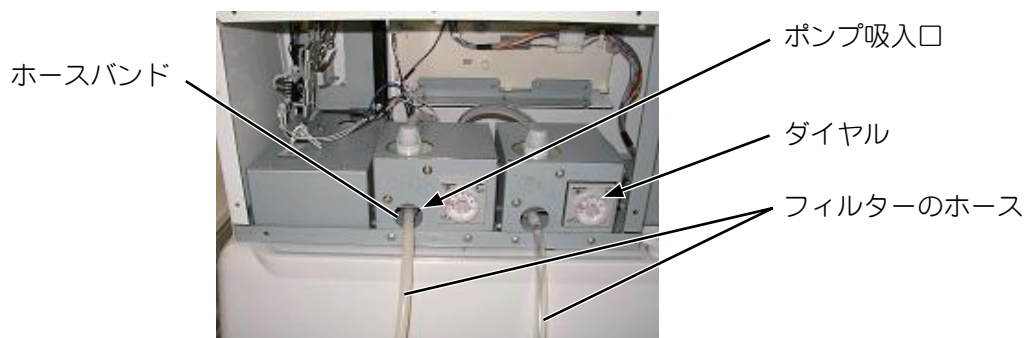
山なりになる長さにする

ポンプ吐出口

洗濯乾燥機後面から見て左側用のホース長さ
<ホース根元（黒チューブ）から約 33cm >

洗濯乾燥機後面から見て右側用のホース長さ
<ホース根元（黒チューブ）から約 25cm >

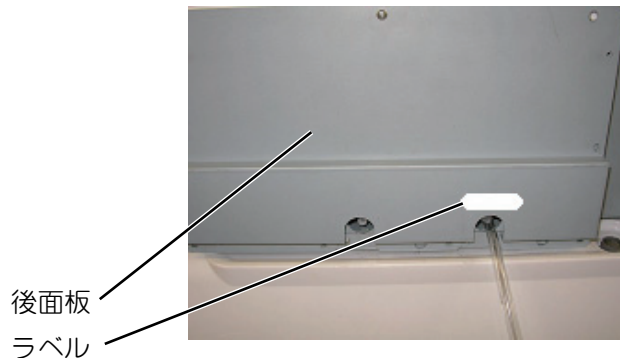
５．助剤投入器を付属の M4 × 10 タッピングネジ２本で固定する。

６．ポンプ吐出口にホースを付属のホースバンドで固定し、洗濯乾燥機側の配線に付いているコネクタを抜き取り助剤投入器のコネクタを接続する。

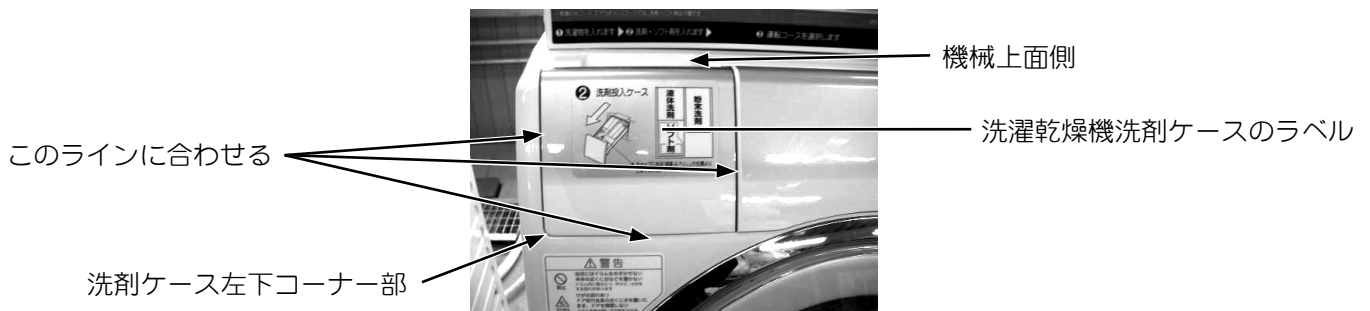
※配線は「洗剤用」と「ソフト剤用」の２種類が制御箱内部に用意してあります。
配線のラベルを良く確認し、接続する助剤に合わせて間違えないように接続してください。
（コネクタの形状は、「洗剤用」、「ソフト剤用」ともに同形状です）
助剤投入器を２個使用する場合は、洗剤とソフト剤の配線をどちらの助剤投入器に 接続したか控えておいてください。

助剤投入器を２個接続した状態

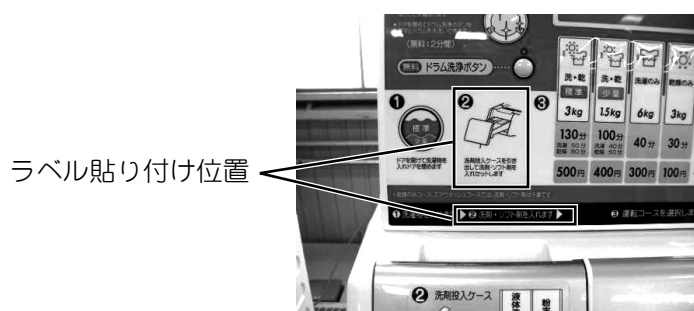
７．ポンプ吸入口に、付属のフィルターのホースをホースバンドで固定し、フィルター先端を、使用する洗剤またはソフト剤に入れる。

使用する洗剤またはソフト剤の投入時間に合わせて、ダイヤルを設定してください。
助剤投入器を２個使用する場合は、洗剤とソフト剤のどちらに接続したかを確認し、間違えないように注意してください。

助剤投入器を２個接続した例

8．後面板のホース入口穴をふさいでいるシールをはがし、後面板を取り付ける。
手順２ではずした特殊ネジ

トルクス T15H　M4 × 12　８本を使用します。
使用する助剤に合わせて、付属の「洗剤」または「ソフト剤」と表示したラベルを後面板に貼り付けます。
助剤投入器を２個使用する場合は、洗剤とソフト剤のどちらに接続したかを確認し、間違えないようにそれぞれ貼り付けてください。

9．洗濯乾燥機洗剤ケースのラベルをはがし、付属のラベル（洗剤ケース用）を貼り付け、洗剤ケースをふさぐ。

ラベルは、洗剤ケースの左右と下端を合わせ、最後に上端を機械上面側に曲げて貼り付け、洗剤ケースを引き出せないようにします。
ラベルの角は１箇所だけ半径が大きくなっています。この角を洗剤ケース左下コーナー部に合わせて貼り付けます。
※ソフト剤を洗剤ケースから投入される場合（洗剤のみ自動投入を使用)、洗剤ケース隠しラベルを貼り付けないで使用することもできます。

１０．洗濯乾燥機前面の操作パネルに、付属のラベルを貼り付ける。

・洗剤のみを接続した場合 ･･･「洗剤自動投入」･「洗剤は不要です」
・洗剤とソフト剤を接続した場合 ･･･「洗剤・ソフト剤自動投入」･「洗剤・ソフト剤は不要です」

以上で本機の取り付けは完了です。設定と試運転を行ってからご使用ください。

仕様

仕様一覧

外形寸法	約 118mｍ（幅）×約 140mｍ（奥行）× 約 120mｍ（高さ）※ 突起部を除く
重量	約 1．2kg　※付属品を除く
助剤投入方式	電磁ポンプ
駆動時間設定	タイマー設定（０～６秒）
ホース	全長約 3m
使用助剤	液体洗剤または液体ソフト剤
動作工程	洗剤‥‥‥‥洗い工程の給水中 ソフト剤‥‥すすぎ２工程の２分間攪拌時点

※本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。